



The Selected Works of Jonathan Edwards

ジョナサン・エドワーズ選集

森本あんり監修

新教出版社

アメリカの宗教界・思想界に巨大な影響を残したエドワーズの主要著作を収録、日本で初めての画期的な選集。

● 日本語版選集に期待します

ケネス・ミンケマ ◆イエール大学出版局「ジョナサン・エドワーズ著作集」総責任者



今般、ジョナサン・エドワーズの著作集が日本語で読めるようになるのはとても素晴らしいことです。エドワーズは、世界規模の歴史的意義をもった宗教的指導者で、今日も研究者や牧師だけでなく多くの一般読者を引きつけています。その思想は神学から人間論、道徳や美学、教会論、霊的成長、リヴァイヴァリズムに至るまで、広く多岐にわたる主題を扱っています。本翻訳選集を読んだ日本の方々が、エドワーズをめぐる継続的な議論に参加され、日本のキリスト教の歴史的理解と今後の発展にどのような貢献ができるかを共に語り合うことができるようになることを切に願っています。

エドワーズ研究の本拠地はイエール大学にあるが、同大学との協定で世界七カ国に「グローバル・センター」が設置されており、日本にもその一つがある。

・ジョナサン・エドワーズ・センター (Jonathan Edwards Center at Yale University) <http://edwards.yale.edu/>
・ジョナサン・エドワーズ日本センター (Jonathan Edwards Center Japan) <http://subsite.icu.ac.jp/jecjapan/>

● 全7巻の内容

- 各巻ⅡA5判・上製・平均500頁
 - 本体価格Ⅱ平均7000円
 - 年間2冊刊行予定(次回は「1自由意志論」)
- 1 自由意志論 (柴田ひさ子訳)
自由意志は存在するか。今日も哲学や生理学で問われている大問題への神学的な取り組み。
 - 2 自然美と類型論 (大西直樹訳)
旧新約聖書から歴史的な自然世界へと広がるタイポロジーを、美と調和の存在論から論じる。
 - 3 原罪論 (大久保正健訳)
なぜ人は、文化の違いや時代の進歩にもかかわらず、みな例外なく罪を犯すに至るのか。
 - 4 大覚醒と教会 (増井志津代訳)
リヴァイヴァルの理論的分析と、「オープン・コミュニケーション」を問い直す教会論の精髓。
 - 5 贖いの業の歴史 (未定)
歴史的世界を天地創造から終末に至る神の贖いの業として捉え直す宇宙規模の神学的思索。
 - 6 神学倫理学論集 (須田拓訳)
三位一体論や創造論や恩寵と徳の倫理学など、神学の剣が峰を縦走する最晩年の円熟した思想。
 - 7 説教書簡集 (佐久間みかよ訳)
アメリカ史に名を残す有名な説教など14編と、回心体験の記録や家族友人との個人的書簡。

ジョナサン・エドワーズ選集 3	冊数	お取り扱い書店
原罪論 (第1回配本) 2015年4月1日 本体価格 7000円+税		
お客様のオ名前・ご連絡先		